

【平成25年度 北海道旭川東高等学校 学校評議員会の報告】

○第1回学校評議員会

期 日 : 平成25年8月26日(月) 18:30~20:00

会 場 : 北海道旭川東高等学校 校長室

出席者 : 学校評議員3名、校長、全定教頭、事務長 7名

今年度は5名の方々に学校評議員をお願いし、年3回の会合を通して様々なご意見やご要望をお伺いします。

第1回目の本会議では、「本校の現状と学校経営上の課題」について校長が説明し、続いて全定教頭がそれぞれの課程の特色ある教育活動について紹介しました。

意見交換では、主に進路や学習について貴重なご意見をいただきました。

〈校長からの説明〉

(1)学校経営方針について

教育活動全般において、現状で満足することなく、もう一段上を目指すために、実効性のある具体的な取組の推進を本年度の方針とした。

そのための具体的方策として次の2点を掲げた。



■全教職員の協力・協働による組織運営体制・指導体制の確立

- ・課題解決のための具体的方策が立てられているか。(Plan)
- ・課題解決に向けて組織として計画的・継続的に取り組んでいるか。(Do)
- ・取組後の評価が適宜、適切に行われているか。(Check)
- ・評価結果が次年度の改善に活かされているか。(Action)

■教育効果を高めるための指導の継続性・系統性

- ・生徒指導や進路指導、健康・安全指導等の取組で学年、学年間の連携が十分に図られているか。

(2)周年事業について

本年10月12日(土)に、創立全日制110周年、定時制90周年記念式典を挙げる。現在、同窓会を柱とした協賛会を中心に当初の予定どおり事業を進めていただいている。生徒の思い出となる式典と生徒に還元できる記念事業の準備を進めているので、今後ともご支援を願いたい。

(3)校舎の大規模改造工事について

昨年度から2年越しで大規模改造工事を行っている。昨年度は外装工事が主であったが、今年度は内装を中心に行っている。様々な場面で生徒には不便をかけているが、学習等に支障が出ないよう今後も十分に配慮したい。

〈学校全般についての意見交換〉

【評議員】

経営方針ではさらに一段ステップアップするということだが、現状でも十分忙しくしている先生方が余計疲弊してしまうのではないか。

【学校】

物理的なものというよりは、教育活動一つ一つの質の向上や実効性を検証するという意味で話しをしている。

【評議員】

最近卒業生が地元に戻ることが少ない感がある。社会に貢献することはもとより、地域に貢献することもまた大切である。

新たな事業を興すことも含め、旭川の活性化に寄与する人材の育成も考える必要があるのではないか。

【学校】

故郷を愛し地域に貢献するという選択肢も、総合的な学習の時間などを通して伝えている。いずれは戻ってきたいと考えている生徒も少なくない。

現在、OBの協力を得て人材バンクを創設し、仕事の内容理解やものづくりに関与できる地盤づくり等の話しをしてもらう機会を検討している。

また、そうした願いと同時に、視野を世界に広げグローバルな時代に対応出来る人材も育成していくという2面性を兼ね備えた教育活動が今後必要と考えている。

【評議員】

本物の仕事を見学したり体験したりすることは、その仕事への興味関心を駆り立てるだけでなく、本来のやりがいを感じ得る上でも重要である。そのためにもOBを活用し、生徒が直に経験できる環境づくりを形成していくことを望む。

【評議員】

P D C A サイクルは民間でも活用するが、内部での評価に終始してしまうと例年同じような課題が出てきて、なかなか個人にまでは浸透しにくいものである。

民間の場合は、そこにユーザーの意見や厳しい目が加わり、責任の所在も明らかになる。それに対して、公務員は身分が保障され、教師と生徒の関係も当然対等でないことから、生徒は学校側の方針に従うしかない実態がある。

そう考えると、学校側は切迫した危機感にとらわれることはなく、部分的な改善はあっても、抜本的な見直しを図るまでにはなかなかいかないように考える。

【学校】

確かに学校職員の場合、民間とは違う組織構造になっているが、教育内容の質的向上は教職員も考えており、課題については、各分掌各学年で検討を重ねている。

例えば学習面を一つ例にとると、生徒からの授業アンケートをもとに授業改善を図ったり、教育活動を保護者にも伝え、学校の実情を直に見ていただいた上で評価していただくこと等を通して改善に努めている。

今後は第三者の意見も参考にさせていただきながら、より実効性のある改善を目指していきたい。



上記以外にも、学校評議員の皆様からは学校を、そして生徒を真剣に考える建設的なご意見を沢山いただいています。

課題解決に向けたこれらのヒントを必ず形に変え実現していきたいと思えます。

今後ともご支援をよろしくお願いいたします。